

織田信長と茶の湯と可児

織田信長は、天下布武を目指す中、茶の湯を政治に効果的に取り込んでいきます。歴史的、美術的に優れた茶道具類である「名物」をコレクションしたほか、茶道具に城や土地と同等の価値をもたせ、配下の武将や大名に褒美として名物茶器を与えました。信長の配下の武将は茶会を催すにも信長の許可が必要であり、羽柴秀吉も忠勤により名物茶器が与えられ、茶会を催すことが許可されています。また、信長は茶の湯により配下の武将に礼儀作法を習わせ、品性を向上させようと考えたようです。天下統一を武断だけで行わず、茶の湯のもつ平和秩序を利用したといえるでしょう。

信長は天正元年(1573年)には、陶工が可児の大平に窯を開くことを認める文書を出しています。信長が存命の間には美濃桃山陶は作られていませんが、信長の影響がなければ、美濃桃山陶は可児で生まれていなかったかもしれません。



大平古窯跡群



国際陶磁器フェスティバル美濃'24
INTERNATIONAL CERAMICS FESTIVAL MINO'24, JAPAN

開催期間 10月18日(金)～11月17日(日)

問 国際陶磁器フェスティバル
美濃実行委員会事務局
☎0572⑤4111



国際陶磁器展美濃の単独券および7館入場セット券販売中

今秋開催予定の第13回国際陶磁器展美濃と開催4市(可児市、多治見市、瑞浪市、土岐市)内の下記施設が対象の7館入場セット券を販売中です。各館の入場料の合計よりも安くなっています。

各施設を巡り、美濃焼の魅力を満喫しませんか。

種 別	区 分	前 売	当 日
7館入場セット券		1,200円	1,500円
第13回国際陶磁器展 美濃単独券	大 人(19歳以上)		800円
	シニア(65歳以上)		700円

※第13回国際陶磁器展美濃は、高校生、18歳以下の人および障がい者(手帳などを提示)と付き添い1人は無料です。デジタル障害者手帳「ミライ〇ID」も利用できます。

7館入場セット券対象施設

会 場	企 画	期 間
荒川豊蔵資料館(可児市)	豊蔵の志野・瀬戸黒～美濃桃山陶への挑み～	10月4日(金)～12月1日(日)
セラミックパークMINO(多治見市)	第13回国際陶磁器展美濃	10月18日(金)～11月17日(日)
岐阜県現代陶芸美術館(多治見市)	生誕130年 荒川豊蔵展	9月14日(土)～11月17日(日)
多治見市美濃焼ミュージアム	『没後40年 陶磁器デザイナー ^{ひねのさくぞう} 日根野作三-人をつなぐデザイン美濃の足跡-』展	9月7日(土)～令和7年1月26日(日)
多治見市モザイクタイルミュージアム	青の誘惑-タイルにみる青の世界-	9月14日(土)～令和7年3月9日(日)
瑞浪市陶磁資料館	瑞浪市制70周年記念特別展 美濃近代窯業の開拓者 ^{そねじろう} 曾根磁叟園製陶所	10月12日(土)～令和7年2月23日(日)
土岐市美濃焼伝統産業会館	土岐市美濃陶磁歴史館 館外展示 ポスト織部の時代	10月5日(土)～令和7年1月26日(日)

